

施策番号	2003		
施策名	歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」大作戦）		
概要	「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発を推進するとともに、歩いて楽しい暮らしを大切にする動機付けのための情報や公共交通を利用する際に必要となる情報を、さまざまなメディアや機会などを通じて提供し、交通行動の振り返りや変更を働きかけ、ライフスタイルの転換を促す。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回数	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	観光客公共交通利用割合（％）	b	b	91.4	91.0	93.7	97.1%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	b					b	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル（くらし方、生き方）が大切にされている。	c	c	43 6.5%	159 24.0%	259 39.1%	126 19.0%	75 11.3%	662	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☒ 客観指標	市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。				
	☐ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。
・ライフスタイルの転換を図るため、市民や観光客に対して、市民しんぶんへの情報掲載などにより、公共交通利用促進を図る情報の提供などを行っているが、まだ十分に浸透していないと考えられることから、昨年度に引き続きc評価が続いている。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・「歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換」のための機会や情報を、様々な媒体を用いて発信・提供することにより、市民、観光客と一体となって過度な自動車利用を抑制する「スローライフ京都」大作戦（プロジェクト）を継続して推進する。

施策名	2003	歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」大作戦）				
指標名	観光客公共交通利用割合（％）					
担当課	歩くまち京都推進室		連絡先	2 2 2－3 4 8 3		
1 指標の説明						
京都市への入洛観光客が利用する交通手段に占める公共交通の割合						
2 指標の意味						
観光客の公共交通の利用状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：京都観光総合調査						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	91.4	91.0	0.4ポイント減	93.7	平成23年度以降の最高値（平成27年度）	97.1%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準						
目標値の達成度が a：100％以上 b：80％以上100％未満 c：60％以上80％未満 d：40％以上60％未満 e：40％未満			6 基準説明 最高値を100％以上とし，以下20％刻みで設定した。			
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
b	b	b				